



理科だより

第3号（夏休み特集）
2026.7.17（金）発行
有田町立有田中部小学校
文責：理科専科 伊東 雅和

1学期が終了し夏休みを迎えます。子どもたちは1日の大半を過ごしていた学校を離れ、約1ヶ月ほどの間、家庭もしくは放課後児童クラブ等での生活をするようになります。子どもたちはとても楽しみにしているでしょうが、保護者の皆様は、「どんなふうに夏休みを過ごさせようか…」と思案されているのではないのでしょうか。そこで、夏休みにできる（やってみてほしい）理科の学習に関わる情報を提供させていただきます。

自由研究、創作・制作物、標本にチャレンジ

理科担当から、「理科の自由研究をやってみませんか」というプリントを全校児童に配布します。また、各学級の担任から配布される「2026年度夏休み自由作品応募」の中でも紹介しています。

理科では、毎年県レベルで『理科作品展覧会』や『理科研究発表会』が実施されており、保護者の皆様の中には小中学生の頃に出品された方もおられると思います。

今年度の日程としては下記のようになっています。

	取り組む期間	審査及び発表会 ※県審査の前に伊万里・西松浦 支部審査があります	おおまかな規定 ※くわしくは配布したプリント 及びプリントに記載してあるHPを ご確認ください。
理科作品展覧会 ※研究物、創作・制作物、 標本を提出する	～夏休み中 (前年などからの継続 もあります)	支部：9/1 県：9/28 ※校内締切 8/26	・模造紙の枚数制限なし ・模造紙の1枚目に「題名」「学校名」「学 年」「名前」 ・模造紙の上部に木枠をつける
理科研究発表会 ※研究してまとめた ものを発表する	夏休み中～10月の支部 発表会まで ※支部締め切り 10/16	支部：10/20 県：11/14 ※児童本人が保護者引率のもと 会場へ行きます	・模造紙4枚にまとめる ・模造紙の1枚目上に「題名」「学校名」 「学年」「名前」

「理科作品展覧会」、「理科研究発表会」どちらも審査対象となるためには、規定を守って取り組まなければいけないので、保護者の皆様のご支援も必要ではないかと思います。（もちろん、私でわかることであれば、相談にはのりますので、ご連絡ください。）

ただ、そこまでの大がかりな取り組みはできなくても、子どもたちが自身の興味関心に基づいて、研究したり、調べたり、作ったり、集めたりしたものを、子どもたちができる範囲でまとめ、「自由研究・理科学的工作・標本」として提出してくれることも大歓迎です。授業で学習したことの延長、参考図書、インターネットなどをヒントに取り組んだことでも、楽しみながらチャレンジしてくれるとうれしいです。

科学館・博物館に行ってみよう!!

地方別にまとめてあるのでわかりやすい!!

5、6年生の理科の教科書の巻末には、参考資料として「科学館・博物館に行ってみよう」というコーナーがあります。また、下のURL及び右の二次元コードにアクセスいただくと、大日本図書（子どもたちが使用している理科の教科書会社）のホームページに飛び、「科学館・博物館に行ってみよう」というページが表示されます。全国各地のいろいろな科学館・博物館が地方別にまとめてあるだけでなく、選んだ館をクリックするとその館のHPに飛ぶので、館の概要、開館時間、アクセス等もすぐにわかります。家族旅行やお盆の帰省などのついでに訪ねることができるのではないのでしょうか。テーマパークも楽しいですが、科学館・博物館もきっと子どもたち興味・関心を引きつけてくれると思います。

「科学館・博物館に行ってみよう」（大日本図書）

<https://cc.dainippon-tosho.co.jp/er/2024/contents/link/c001.html>

